全　員　協　議　会

★令和6年1月29日㈪

【第3回図書館整備検討委員会の概要について】

●事業の概要

1月19日㈮に、だて歴史の杜カルチャーセンター2階視聴覚室で行われた「第3回伊達市図書館整備検討委員会」の概要について、検討委員から出された意見等も含め、報告がなされた。

★令和6年3月4日㈪

【図書館整備基本構想（案）ついて】

●事業の概要

従前より示されていた「伊達市立図書館整備基本構想（素案）」からの変更点を中心に、過去4回開催されている図書館整備検討委員会で出された意見や、パブリック・コメント、市民説明会での提案なども含め、報告がなされた。

★令和6年3月15日㈮

【西いぶり広域連合ごみ処理手数料について】

●事業の概要

西いぶり広域連合では、新中間処理施設を建設しており、令和6年10月の供用開始を予定している。

それに伴い、令和6年2月に開催された西いぶり広域連合議会定例会において、事業者や市民が新施設へ廃棄物を搬入する際に支払う、ごみ処理手数料の変更に係る条例改正案が議決された。

このことから、新施設の供用開始後は、ごみ処理手数料が増額となり、事業者や市民の負担が増えることが予想される。

そのため伊達市では、独自の支援策を実施する予定であること、説明がなされた。

建設中の新中間処理施設

津波避難ビル「みなっ知（ち）」他視察

委員長　岩村　和則　副委員長　大光　力
委　員　吉野　英雄、洞口　雅章、小久保　重孝、犬塚　貴敬、寺島　徹

★青森県八戸市　令和6年2月7日㈬

【防災体制の強化と自治会との連携について】

東日本大震災時に多くの住民が避難場所となった津波避難ビルとなる、八戸みなと体験館みなっ知にて、初期対応や自治会との連携、備蓄品の在り方や自主防災組織の組織率向上の必要性など、実体験を元に、説明が行われていた。

★青森県南部町　令和6年2月7日㈬

【新庁舎建替について】

合併前の分庁舎形式で、行政が進められていた。建築表明から、完成まで短期間であるにも関わらず、「気軽に立ち寄れ利用しやすい施設」「効率的で機能性の高い施設」「環境に配慮し安全な庁舎」「町民が誇り愛着の持てる庁舎」を基本方針とした。

地産地消となる青森建材を内装材に採用し、庁舎玄関前も災害時に炊き出しとなるスペースや自家発電設備も有し、防災拠点として優れ、今後の参考となる施設見学となった。

八戸みなと体験館「みなっ知」

南部町役場ロビー

★青森県青森市　令和6年2月8日㈭

【子ども権利条例・青森市こども会議について】

当時の市長の重点施策として、「子育て」がテーマとなっており、平成24年に「青森市こども権利条例」が策定され、子どもの意見が反映される町づくりを進め、子育て支援課、教育委員会、学校、市民団体が中心となり「青森市子ども会議」が発足。

小さい頃から町づくりに関わる仕組みを構築し、子どもの笑顔がある町として活動を継続している。

総務文教常任委員会　所管事務調査

★令和6年3月7日㈭

【部活動地域移行について】

●部活動地域移行とは

部活動の地域移行とは、これまで中学校の教員が学校教育の一環として休日に担当していた部活動の指導を地域のスポーツクラブや民間事業者、外部団体などがおこなうよう移行する取り組みです。現状の部活動は、一般的に所属する中学校内でおこなわれている。

●伊達市の部活動改革の方向性

部活動を教員の職務と切り離し新たな運営形態による部活動へ。

受け皿となる総合型地域スポーツクラブの創設。

●地域移行に向けて準備開始

令和3年10月に庁内でプロジェクトチームを立ち上げ令和5年4月からの地域部活動開始を目指す。

●関係機関への情報提供

令和3年12月にスポーツ関連団体への説明。各競技団体への橋渡しを了承。理事会等での説明を承認。

●計画作成と下地作り

【指導者】

令和4年4～6月に小中学校教員へアンケート実施。

令和4年11月に教職員説明会を行う。

【保護者・議会】

令和4年10月に保護者説明会の実施。令和4年6月、9月、12月に伊達市定例議会への説明。

●令和5年度からの取組

伊達スポーツクラブ「藍」を立ち上げ、中学校との連携を図る。

●ユル部活の実施（体力向上に向けて）

身体を動かす機会の提供、運動への興味関心を高める、体育とは違う運動を体験。

●今後の方向性

・令和5年度、すべての運動部活動で休日の地域部活動の実施。

・令和6～8年度、平日の地域部活動の実施。

・最終的には、地域部活動をクラブ化し、地域全体で支えるスポーツ活動に切り替える。

いずれも、市の担当者からの説明を受け、調査を行った。

産業民生常任委員会　所管事務調査

★令和６年３月８日㈮

【今後の水道事業会計予算について】

伊達市の水道事業は、大口事業者である北海道電力株式会社伊達発電所からの水道料金収入により、平均で７，０００万円の純利益が生じ、長期にわたり良好な経営状態を維持してきた。

伊達発電所が令和６年３月末で稼働を休止することに伴い、給水収益が大幅な減収となり、必要な費用を収益で賄うことができなくなる。ついては、約３，０００万円の純損失が生じる見通しとなる。

【国営緊急農地再編整備事業について】

国営緊急農地再編整備事業は、区画整理と併せて、担い手へ農地の利用集積を実施することで、生産性や収益性の向上と耕作放棄地の解消を図り、地域農業の振興と地域の活性化に貢献することを目的としている。

【伊達まちカードについて】

伊達まちカードは、国の「地方創生先行型事業」を活用し、ポイントカードを軸とした顧客の囲い込みとデータ分析による効率的なマーケティングを目的として、平成28年３月にスタートした。

今般のアンケート調査結果等から、加盟事業者の拡大等の展開は望めず、当初の事業目的の一つであるデータ分析やマーケティングは難しい状況にある。

当面は現在の形で事業を継続する。

【北海道電力㈱伊達発電所休止中の公害防止協定等の取扱いについて】

北海道電力株式会社 伊達発電所から、胆振西部４市町で構成される「伊達火発対策連絡協議会」に対し、協議の申し入れがあったことから、当該協議会において審議を行った。

いずれも、市の担当者からの説明を受け、調査を行った。

方針検討がなされる「伊達まちカード」

topic 6 西胆振行政事務組合議会

★令和5年12月22日(金)

【令和5年第2回臨時会】

・議案第18号　西胆振行政事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……原案可決

・議案第19号　西胆振行政事務組合火災予防条例の一部を改正する条例……原案可決

・議案第20号　令和5年度西胆振行政事務組合一般会計補正予算（第4号）……原案可決

小倉　拓・岩村　和則・阿戸　孝之

topic 7 西いぶり広域連合議会

★令和6年2月20日(火)

【令和6年第1回定例会】

・議案第1号　令和5年度西いぶり広域連合一般会計補正予算（第7号）……原案可決

・議案第2号　令和6年度西いぶり広域連合一般会計予算……原案可決

・議案第3号　西いぶり広域連合の手数料等に関する条例中一部改正の件……原案可決

・議案第4号　公の施設に係る指定管理者の指定の件……原案可決

・報告第1号　専決処分について承認を求める件（令和5年度西いぶり広域連合一般会計補正予算（第5号））……承　認

・議案第2号　専決処分について承認を求める件（令和5年度西いぶり広域連合一般会計補正予算（第6号））……承　認

・議案第5号　公平委員会委員の選任について同意を求める件……同　意

渡辺　雅子・田中　秀幸・辻浦　義浩